

トピックス

三重県四日市市における「150万本の森づくり」活動

株東芝

～体験を通じて自然保護の大切さを学ぶ～

当社は、社会貢献活動の一環として、創業150周年を迎える2025年に向けて、国内外で総計150万本規模の森林整備に取り組む「150万本の森づくり」運動を展開しており、国内13都府県、海外15か国で活動を行っています。

その中で、三重県および三重県四日市市とは、森林の環境保全活動に協力する「森林保全協定」を2012年10月に締結し、森づくり活動に取り組んでいます。この活動は三重県四日市市水沢町にある合計約5.8ヘクタールの山林・森林を整備（間伐や、植林）するとともに、従業員の環境教育の場としても活用しています。

今年は、10月19日(土)に当社中部支社、四日市工場、三重工場の従業員とその家族が間伐作業や植栽を実施し、それらの体験を通じて自然保護の大切さをみんなで学びました。参加者からは「自然と触れ合うことでリフレッシュ出来た」、「昨年植林した木が少し大きくなっていて感動した」、「親子で協力して取り組める良い活動であり、これからも毎年参加したい」などの感想がありました。



10月19日(土)の四日市での植林活動の様子